

(1) 計画期間、目標年度について

- ・ 現行ビジョンは、計画期間を2016年度～2020年度の5年間としている。
- ・ 目標年度は、計画期間の最終年度（2020年度）となる5年後を中期目標、10年後（2025年度）を長期目標に設定している。
- ・ 次期ビジョンの長期目標にあたる10年後の2030年は、エネルギー基本計画やパリ協定、SDGs等の目標や方針が設定されており、一定の区切りの年となっている。
- ・ 次期ビジョンも同様に、計画期間を5年間とし、中期目標を5年後、長期目標を10年後に設定するのか、ご議論をいただきたい。

(2) 目指す将来像について

- ・ 現行のビジョンでは、「高知県産100%！自然エネルギーあふれる「こうち」の創造」を目指す将来像として示している。
- ・ 次期ビジョンについても、現行ビジョンで示した将来像を継続するのか、国の動向等を踏まえながらご議論をいただきたい。

(3) 基本方針について

- ・ 目指す将来像を踏まえ、将来像実現に向けた次期ビジョンの取組の方向性、基本方針について、ご議論いただきたい。

(4) 目標設定の考え方について

- ・ FIT制度の見直しにより、小規模発電施設への地域活用要件の設定や、大規模発電施設の入札制度への移行、FIP制度の導入が決定している。
- ・ こうした見直しの影響も踏まえ、次期ビジョンの目標をどのような考え方にに基づき設定するのか、ご議論をいただきたい。

(5) 高知県新エネルギービジョンとSDGs（持続可能な開発目標）との関係性の整理について

- ・ 令和2年4月に改定した県政運営方針では、基本方針4「時代の潮流を的確に捉える」の中で、SDGsを意識し、施策のブラッシュアップを行っていく姿勢を示している。
- ・ このため、次期新エネルギービジョンについても、SDGsとの関係性を整理することとし、どの目標を目指すかについてご議論いただきたい。

(6) 施策体系の見直しについて

- ・ 現行ビジョンは、課題に対する対策という形で整理されている。
- ・ 次期ビジョンでは「将来像の実現に向けた取組の方向性」に沿った施策体系に整理し直すこととし、取組の方向性ごとに、より詳細な「取組の柱」を定め、その下に具体的な施策を整理し直すこととしたい。
- ・ 目指す将来像実現に向けた取組の方向性、基本方針の議論とあわせて「取組の柱」について、ご議論いただきたい。

(7) 推進方針および推進体制について

- ・ 次期ビジョンを推進していく上での各主体（県民、事業者、市町村、県）の役割について、ご議論いただきたい。